



理念

- (1) 県教育委員会、静東教育事務所人事異動方針/H30基本方針
- (2) 熱海市学校教育の基本方針
- (3) 心を整え、耳を澄まし、顔をあげ、言葉と行動を磨く。
 - ・きびしさ、やさしさの質の高さを自負しよう。
- (4) すべての生徒に「安全」「学習」「人権」の保障し、
「生徒の姿」で熱中の教育を語る実践を目指す。
 - ・共に生きる(学ぶ)喜びを分かち合える**感性あふれる学校**に。
 - ・生徒に高いレベルの学びに**挑戦**する機会を提供しよう。
 - ・教師も学び合おう！(生徒や同僚と)お互いに認め合って支え合う**集団**づくりを。
 - ・生徒に寄り添う、丁寧で誠実な**熱海の生徒指導**を継承する。

学校経営目標

- (1) 一人一人が互いに心を添え、**安心で安定した人間関係**を構築し、目指すものの共有や個々の力を大切に、充実した人生・成長する先端(自立・貢献)となるよう的確な判断をする。
- (2) 学びの質を高めるため、主体的で**対話的な学び**があり、探求的な学びになるように、子どもを感じ・聴き、課題や小グループや全体でのデザイン・流れ・受け応えを探求する授業を積み重ねる。
- (3) 学力や体力、学校生活向上のための取り組み、定着と習慣化・効果的な競い合いを推進する。
- (4) 教職員も**働き方改革を意識し**、安全や健康(食育)のための取り組みを進め、事務の円滑な運営を行う。

教育課題

- ・生活基盤(基本的生活習慣)、学習基盤(学習態度)が十分に身につけていない生徒もいる。学力の差(二極化)が激しい。
- ・友達を大切に、やさしい生徒もいるが、数が減っている。
- ・体を動かすことが好きだが、ケガが多い。(限度がわからない)



学校教育目標

思うようになる 今どう思い、どう過ごす



重点目標

- 知：学習に向かい、知識理解を確実にし、主体的に学び合い探求する子
- 徳：よいイメージと向上心を持ち、人と支え合う心豊かな子
- 体：自らを知り、鍛え、たくましい心身をつくる子

ここにいるみんな、自分を誇ろう。熱海中学校を誇ろう。熱海市を誇ろう。

学び：対象(教材)との出会いと対話
他者(仲間や教師)との出会いと対話
自己との出会いと対話

対話的な学び
を目指して

授業は高く設定された内容レベルと、教室でもっともわからない子どもの問いのレベルとの間の大きなギャップを、教師と子どもたちが協同で埋めていく実践である。個々の人が主体でありながら、決して一人ではできない他者との対話(考えや意見の多様性)を通して追求していく。そこで各教科・単元の特徴を生かしながら、「対話的な学び」を追究する。教材研究では、どのように「対話的な学び」仕組むかを研究し、授業研究では、子どもの姿から、その授業の検証をしていく。今までの柔らかな声と身体による「聴き合う関係」も大切にしていく。

PTA活動・桃陵会・同窓会

- ・PTA活動の充実
(強歩会・立志式など伝統として残っている特色ある学校行事への参加・協力)
- ・デジタル デドックスの啓発

連携

梅香の会(小中の連携)

各地区の地域安全コミュニティ
各地区の青少年健全育成会
警察ボランティア
保護司・民生委員 市立図書館
東・中・西・伊豆山地区町内会

熱海中の
対話的な
学び

